

| 今月の経済動向（平成27年8月）

● 月例経済報告/金融経済月報

	月例経済報告（内閣府・8月26日）	変化*	金融経済月報（日本銀行・8月10日）	変化*
景気基調	景気は、このところ改善テンポにばらつきもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクや金融資本市場の変動に留意する必要がある。	➡	景気は、緩やかな回復を続けている。 先行きについても、景気は緩やかな回復を続けていくとみられる。	➡
民間消費	総じてみれば底堅い動きとなっている。	⬇	雇用・所得環境の着実な改善を背景に、底堅く推移している	➡
設備投資	このところ持ち直しの動きがみられる。	➡	企業収益が改善するなかで、緩やかな増加基調にある。	➡
住宅投資	持ち直している。	⬆	持ち直している。	⬆
雇用	改善傾向にある。	➡	着実な改善を続けている。	➡
生産	このところ横ばいとなっている。	➡	振れを伴いつつも、持ち直している。	➡
輸出	このところ弱含んでいる。	⬇	振れを伴いつつも、持ち直している。	➡
国内企業物価	このところ横ばいとなっている。	⬇	3か月前比で見ると、国際商品市況の動きを反映して、横ばい圏内の動き。	➡
消費者物価	緩やかに上昇している。	➡	0%程度となっている。	➡

* 前回からの変化: 上方修正 ⬆、下方修正 ⬇、据え置き ➡

[月例経済報告：内閣府](#)

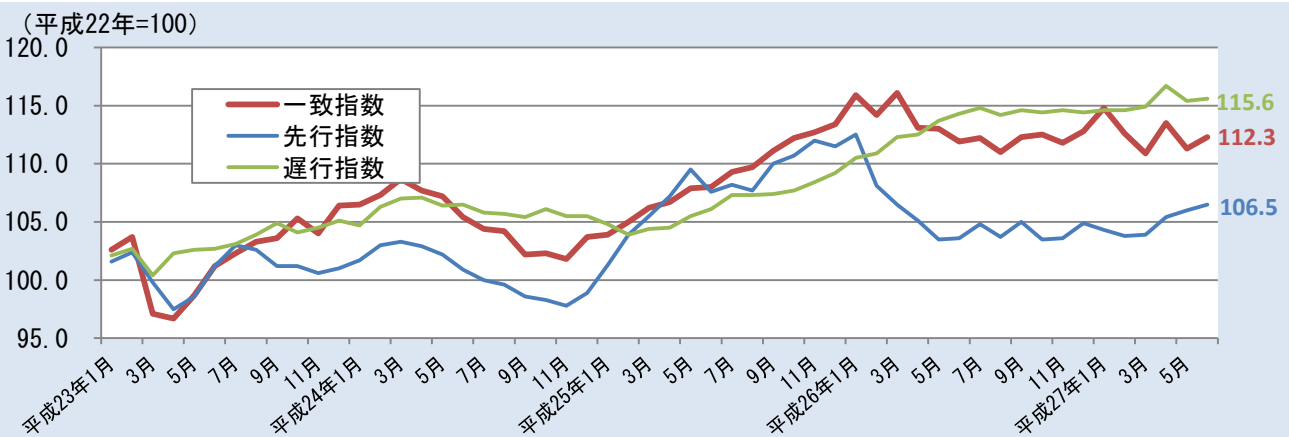
[金融経済月報：日本銀行](#)

● 景気動向指数（平成27年6月）

平成27年6月のCI一致指数(改訂値)は前月より1.0ポイント高い112.3ポイントとなり、2ヶ月ぶりに前月を上回った。CI先行指数は4ヶ月連続で上昇し106.5ポイント、遅行指数は2ヶ月ぶりに上昇し115.6ポイントとなった。

景気の基調判断(CI一致指数)は、「足踏みを示している」を据え置いた。

・CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)